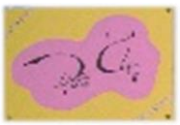
三中図書館だより

6 June

令和３年度　　No.3
6月25日
三崎中学校図書文化委員会
学校司書　発行

６月も 21 日の夏至を過ぎて、後半に入りました。１学期もあと１カ月で終わりです。時間がたつのは早いものですね。７月の期末試験が終われば、いよいよ夏休み！　そして学校図書館には、お待ちかねの新刊も入ります！

つながる　どくしょ



読書ページ総数　41,381　～6/23

あっという間に４万超えです。今回も上位を２年生が独占し、３年生が続いています。感想から本を楽しんで読んでいる様子がわかり嬉しいです。

順位	ページ数			
１位	5251	２年	濱野	夏妃さん
２位	3749	２年	松井	菜乃華さん
３位	3619	３年	道端	薫子さん
４位	2422	３年	泉	漣太さん
５位	2089	１年	川上	華凜さん
６位	2038	２年	権元	沙耶さん
７位	2033	３年	泉	理緒さん

2021年 青少年全国読書コンクール　課題図書

『with you（ウィズ・ユー）』 濱野京子（はまのきょうこ） 著　（くもん出版）

母親の介護に携わる「ヤングケアラー」の少女・朱音に恋をした中学生の悠人の物語を通して、「誰かを大切に思うこと」を描く。

悠人が夜の公園で出会った少女・朱音は、母親の介護に携わる“ヤングケアラー”だった。彼女の力になりたいと思うようになる悠人だが――。これは恋なのか、それとも別の感情なのか？「誰かを大切に思うこと」を描く。

『アーニャは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ 著　（評論社）

第二次世界大戦中のフランスの村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもの亡命を助けることになって……命の尊さをうたいあげる物語。

第二次世界大戦中のフランス山間部の村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもたちの亡命に手を貸すことになる。ドイツ兵が駐留する中、村人が心を一つにして、命を守るために立ち上がる。映画にもなった感動作。

『牧野富太郎（まきのとみたろう）：日本植物学の父』 清水洋美（しみずひろみ） 著　（汐文社）

学歴はなくても、誰にも負けない情熱がある！　日本全国の野山を駆け巡り、数多くの新種を発見・命名をした牧野富太郎の人生を描きます。

日本全国の野山を駆け巡り、集めた標本は 40 万点。数多くの新種を発見し、命名した植物は 1500 種類以上。草木を愛し、愛された、日本が誇る植物学者・牧野富太郎の波瀾万丈な 94 年の人生を描きます。

今月の図書文化委員会活動

リクエスト本のアンケートを実施しました。
ご協力ありがとうございました。
受賞作品や図書館の本の続編などが、リクエストにありました。購入できるものから入れる予定です。２学期以降になりますが、どうぞお楽しみに！

特集案内

２階の「本の紹介コーナー」では、「ショート短編」の本の特集しています。読んでくださいね。